



校長室だより No. 2 (令和4年6月24日)

令和4年度第1回学校運営協議会の開催 (令和4年6月24日)

高知若草特別支援学校の学校運営協議会は、令和元年度に設置し、今年で4年目を迎えます。令和3年度から、子鹿園分校、土佐希望の家分校も含めて、若草3校合同の学校運営協議会として新しいスタートを切りました。

学校運営協議会では、若草3校の重点取組及び各学校の取組の進捗状況を中心に説明させていただきました。委員の皆さんからは、卒業後を見据えた ICT 機器の効果的な活用の在り方や教職員が互いに学び合うことの大切さ等が確認され、本年度の取組について貴重なご意見をいただくことができました。また、新型コロナウイルスに対する感染症対策についても、今後の方向性等も踏まえたご助言をいただきました。今後のよりよい学校経営に活かしていきたいと思っております。

令和4年度「学びをつなぐ学校づくり計画」は、令和2年度から4年度までの3年計画のまとめ、最終年度となります。

令和4年度は、「学びをつなぐ学校づくり計画 (R2~4)」の柱である「1 授業改善から教育課程の改善充実」を取組の核として位置付け、「2 教科の後ろ支えの『自立活動』」、「3 児童生徒支援のツールである『ICT』」を充実させることで核の取組を支え、「学びをつなぐ学校づくり計画」3年間のまとめを行う年だということを意識する構造図として整理しました。

そして、このような取組を推進していくための教職員集団の力。その下支えがあってこそ、この取組が加速します。その取組が「教員の働き方改革」であると考えました。



自立活動の充実 (本校)

- ①流れ図等の作成または見直しを通して、教科学習を後ろ支える自立活動について理解を深め、自立活動の指導を見直す。
- ②肢体不自由教育における専門性の維持向上を図る。

▼自立活動の充実 具体的な取組

身体に対するもの

- ◆スパイダー
 - ◆立位台
 - ◆歩行器などの福祉機器を利用した活動
- ⇒学習に向かうための姿勢づくり



自立活動室

環境の把握に対するもの

- ◆揺れ遊具など
- ⇒感覚の統合に向けて



プレイルーム

ICTを活用した実践 (土佐希望の家分校)

土佐希望の家分校では、隣接する土佐希望の家医療福祉センターと連携しながら児童生徒の笑顔を大切に、一人一人の実態に合わせた教育を行っています。

全ての教員が児童生徒の実態に応じたICT機器を利活用できるように取り組みます。

授業づくりや自立活動の指導の取組と関連させて、児童生徒の実態に応じたICT機器の活用を進めています。

今年からChromebookを活用して、学齢超過の生徒同士が互いにやり取りを行う学習を行っています。

生徒の主体的な行動がみられるようになりました。



教育課程の改善 (子鹿園分校)

- ①学習評価への理解を深め、教育課程の評価・改善につなげます。
- ②授業づくりのPDCAサイクルを徹底し、主対深の視点での授業改善を図ります。
- ③若草3校で教育課程実施上の課題を共有し改善のための検討を行います。
- ④卒業後を見据えたキャリア教育の充実を図ります。

授業改善

- ・全教員が公開授業、研究協議を実施します。
- ・教員間で授業を参観しあいます。
- ・小中学校の授業づくり講座に関する研修に参加して学びます。

キャリア教育の充実

- ・キャリア発達段階表
- ・進路学習計画
- ・キャリアパスポートの活用
- ・「3校キャリア教育推進チーム」の新設

